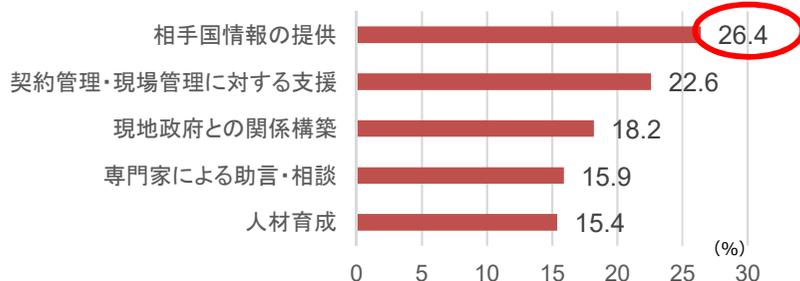


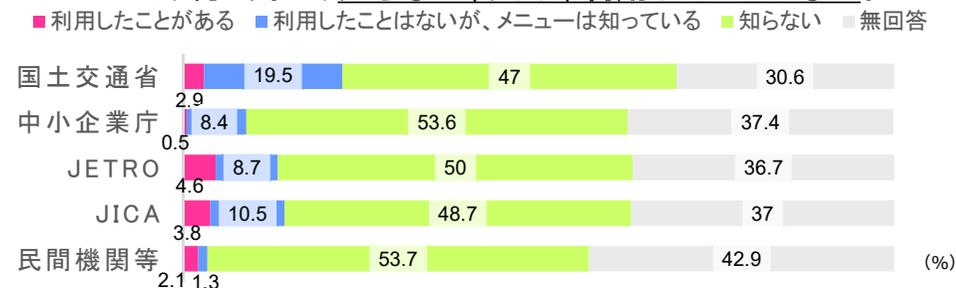
- 中堅・中小建設企業の中には、海外進出を希望する者が増加しているが、**相手国情報や現地ネットワークの不足が課題**。また、国土交通省をはじめ関係機関の支援策は、十分知られているとは言えず、**活用が不十分**。
- 情報・課題の共有、関係機関による支援策等の活用を図り、中堅・中小建設企業の海外進出を支援するため、**プラットフォームとして「中堅・中小建設業海外展開推進協議会 (JASMOC)」を設置**。

背景

①海外進出するにあたり、「希望する海外進出支援」のうち、最も高いのは、**相手国情報の提供** (約3割)。



②政府・民間機関等の「海外進出支援メニューの認知・利用状況」について、約9割が、**知らない、又は、利用したことがない**。



※国土交通省アンケート調査(平成29年2月)より

中堅・中小建設業海外展開推進協議会 (JASMOC)

※平成29年6月12日発足

- 協議会構成 (令和2年3月5日現在)
- 会員企業 : 中堅・中小建設企業 **220社**
- 会員団体等 : 業界団体等 **12団体**
- アドバイザー :
 - 【座長】草柳俊二 (東京都市大学客員教授)
 - 有識者、中小企業診断士等 **5名**
- 支援機関等 : 政府関係機関(JICA、JETRO、中小企業庁、中小機構、外務省、在外公館等)、金融機関(地銀・信金)等 **96団体**

- 【参考】協議会構成 (平成29年6月12日発足時)
- 会員企業 : 68社
- 会員団体 : 10団体
- アドバイザー : 4名
- 支援機関等 : 22団体



<第1回協議会 末松国土交通副大臣挨拶>

●協議会の活動内容例

- ①海外進出に必要な情報・課題の共有 (海外建設市場の動向等の情報提供、進出事例等の紹介等)
- ②海外進出セミナー等の開催
- ③支援機関・事務局からの情報提供 (海外進出支援メニューの紹介等)
- ④個別課題に関する検討 (人材育成や金融支援等の勉強会の開催)
- ⑤定期的な実績報告 等